

PHEVを巡る動き(2006.1~2006.12)



月	発信元	概要	コメント
1月	米大統領	一般教書の「新エネルギーイニシアティブ」で新型電池開発の推進を発表	この後、ブッシュ大統領が各所の演説でプラグインハイブリッド車への期待を表明
2月	日本自動車研究所	「プラグインハイブリッド車ワークショップ」を開催	PHEVに関する日本で初めての公開ワークショップ
5月	米エネルギー省	プラグインハイブリッド車 Discussion Meetingを開催	エネルギー省のFreedomCar部門が担当、国内外から参加
5月	米議会・下院	「2006年プラグインハイブリッド車法案」に関してヒアリング	メーカー、電力、学識経験者など多数が意見を陳述
5月	エジソン電気協会 (EEI)	プラグインハイブリッド車開発への支持を表明	EEIは日本の電気事業連合会に相当。PHEV開発の中心の電力研究所 EPRIの下院での意見陳述を支持
6月	トヨタ自動車	「環境対応技術の開発とエコカーの市場導入を強化」のプレス発表	この中で「プラグインハイブリッドカーの研究開発推進」を表明
7月	米映画プロダクション	ドキュメンタリー映画「誰が電気自動車を殺したか？」劇場公開	カリフォルニア州のZEV規制で導入されたGMの電気自動車EV-1が規制の改定で市場から撤去されたことにまつわる話。PHEVへの期待も。
8月	ニューヨーク州政府	州所有ハイブリッド車600台をプラグイン車に改造する計画発表	予算約11.5億円を準備。その他、州の「サラトガ技術+エネルギー・パーク」に代替燃料研究所を設置し、ハイテク電池を製造する会社を誘致する
8月	経済産業省	「次世代自動車用電池の将来に向けた提言」を発表	「2015年頃にPHEVを量産するには、電池のコストを1/7にする開発プロジェクトを2010年頃までに実施することが必要」
8月	米Alliance Bernstein	「ハイブリッド車の出現—運輸と経済における石油の牙城の終焉」というタイトル	投資運用会社のレポート、ハイブリッド車とともにPHEVを高く評価
8月	Silicon Valley Leadership Group	「外国石油依存からの脱却は国家の最優先課題」	そのためにPHEVを支持。シリコンバレーのCEO達の声明
9月	Google.org* (* 検索のGoogle.com傘下のFor profitの慈善団	地球環境を守るために、10億ドル(1150億円)規模の資金を提供	エタノールと電気とガソリンで走る超燃料経済のPHEVの開発を計画中とニューヨーク・タイムズが報道

	体)		
9月	著者: Sherry Boschert	“Plug-in Hybrid: The Car That Will Recharge America”の発行。(米国を充電する車: プラグインハイブリッド)	プラグインハイブリッド車に関する最初の単行本、230ページ、New Society Publishers発行。\$15(アマゾンで¥1,752)
9月	カリフォルニア州ARB ZEVシンポジウム	ZEV規制改定の参考にするための技術報告・討論	前半の1日は水素FCV関係、後半の1.5日はEV、PHEV、電池、V2Gなど。電動パワートレインに関心
10月	カナダ・オンタリオ州電力会社	A123社のLi-Ion電池とHymotion社コンバージョンのプリウスを購入	交換用電池(5KWh)は4000ドルと発表
10月	カナダToronto Star (06.10.22) “Lovins Q&A”	Amory LovinsがPHEVに対して前向きな発言	LOVINS: “We are about to publish the first independent assessment of plug-in hybrids, and in the right circumstances it can be an attractive option.”
10月	GE Global Research	“Battery dominant”燃料電池バスの研究パートナーシップのプロジェクトを発表	General Electricは電池メーカーのA123の出資者
10月	CNNニュース Bloomberg.com	GMがPHEVをI-Carのコードネームで開発中	1月のデトロイト自動車ショーでPHEVのプロトタイプを出すなどの噂、いろいろ
10月	米ワシントン州EAA(電気自動車協会)	コンバージョン・プリウスを発表、PHEVへの改造のオープンソースとして eaa-phev.orgサイトに情報集約	この時点でプリウスのコンバージョンは19台。この内、改造業者のEnergyCSが12台を製作
10月	日本自動車研究所	横浜のEVS-22国際会議の付属プログラムとしてPHEVワークショップを開催	米国、フランスの電力会社などが導入効果を提示。DOE、EPRIなどがテストデータを発表
10月	米Hybridcar.comの報道	トヨタ滝本副社長、EVS-22でPHEVについて明言	“Takimoto made it clear that a plug-in vehicle could be in Toyota’s future.”
10月	英国財務省	“Stern Review Report”(気候変動の経済影響)を発表、この中でPHEVに言及	“Markets alone, however, may struggle to deliver more radical changes to transport technologies such as plug-in hybrids or other electrical vehicles.”
11月	各種ニュースソース	GMのPHEV発表の噂しきり。役員もBlogに見解など公表	シリーズ・ハイブリッド型、LAオートショーで発表、デトロイトオートショーでプロトタイプ展示、など

11月	Firefly社プレス発表、新聞報道	革新的鉛酸電池に工具メーカーなど出資、国防省も援助	カーボングラファイトフォームを電極に使用した鉛酸電池を07年後半から出荷予定
11月	電力研究所 (EPRI) アルゴンヌ国立研究所 (ANL)	3年間の共同研究契約を締結	PHEVの経済性、環境性、エネルギー自給性、市場性、製造・導入における課題などを評価
11月	ZD-NET/CNET Networks	政府機関がプラグイン自動車に行列	連邦政府・州政府などは、所有しているハイブリッド車をプラグイン自動車に改造する計画を立ち上げ始める
11月	GMのCEOのWagoner	PHEVの製造計画を発表(業界で最初の発表)	Saturn Vueハイブリッドをベースにプラグイン化する(時期などの詳細はなし)
12月	DOE & Boeing-SpectroLab	40%以上の変換効率の太陽電池を発表	変換効率: 40.7%、設備費用: \$3/KW、発電費用: 8-10cent/KWh
12月	Pacific Northwest 国立研究所	米国の2億2千万台の自動車プラグイン化しても、必要電力の84%は現在のオフピークの発送電余裕で賄える	公式機関が出したのものとしては初めて。平均走行距離1日33マイル。プラグイン化の費用の6000-10000\$の元をとる期間なども計算。通信で充電を制御するSmart gridは電力にとっても魅力。
12月	日産自動車	PHEV開発を始めて公式に発表(11月下旬からリーク報道あり)	「日産グリーンプログラム2010」の中のアクションとしてPHEVの開発加速を発表
12月	USABC (US Advanced Battery Consortium)	USABC・DOEはA123社とLi-Ion電池開発で契約	燐酸塩型LiIon電池の出力増強、コスト低減、誤使用許容性、寿命延伸など。36ヶ月・15M\$
12月	ニューヨーク州政府	州公用車のプラグイン化計画の第1弾契約内容を発表	6台の契約が発表された。内訳はPrius2台、Ford Escape3台、Civic1台。電池はA123が3台分を受注、内1台(Prius)は即納。
12月	ヴァージニア州 Fairfax郡	HymotionのL5プリウス改造車を導入	自動車サービス局の公用車として使用開始。この時点でPrius改造車は24台
12月	New York Times Pulitzer賞コラムニスト Thomas Friedman	テキサス州の風力発電は全米一(200万KW)で、これを始めたのが知事時代のBush大統領。Friedmanは、これを全米に広げる政策を提言	1、テキサス州式の再生可能エネルギーの目標設定 2、全米送電網の整備 3、PHEVの製造・購入に長期税制補助 4、これで京都議定書以上の脱炭素達成可能